

令和6年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	株式会社 札幌リゾート開発公社	所管課	経) 観光・MICE推進課
		記入者	担当 及川 電話 011-211-2376
基本財産	1,020,000千円	本市出資額	200,000千円 (出資割合 19.6%)
設立年月日	昭和48年(1973年)6月28日	出資年月日	昭和48年(1973年)12月4日
設立・出資目的	「札幌市長期総合計画」に基づき、昭和46年度から第1次5ヶ年計画として社会開発の推進のなか、環境破壊等から市民を守り豊かな市民生活を確立するため、自然を生かしたレクリエーション施設等の整備と温泉保養地としての定山溪地区の振興を目的として設立した。	沿革	昭和48年 設立 昭和51年 豊平峡電気自動車開業 昭和53年 札幌国際スキー場開業 昭和57年 ていねプール開業(札幌市受託業務) 昭和60年 定山溪温泉スポーツ公園開業 平成13年 札幌市藤野野外スポーツ交流施設索道部門(札幌市受託業務) 令和2年 札幌市藤野野外スポーツ交流施設単独受託(札幌市受託業務)
代表者	代表取締役社長(常勤) 熊谷 淳(市OB)		
主な出資者	① 札幌市 (19.6%) ② 日本政策投資銀行 (14.7%) ③ JTB (11.5%) ④ 日本カストディ銀行 (5.8%) ⑤ ⑥		
団体所在地	〒061-2301 札幌市南区定山溪937番地先 電話 011-598-4511		

2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① ていねプール(手稲稲積公園内)の管理運営(7ページ)	② 札幌国際スキー場事業(8ページ)
ていねプール(手稲稲積公園)の指定管理者として、プールの維持管理、安全確保に関する業務を行う。	定山溪地区観光振興の一環として札幌国際スキー場の管理運営を行う。
③ 豊平峡電気自動車・レストハウス事業(9ページ)	④ Fu'sスノーエリア索道・コースの管理(10ページ)
豊平峡電気自動車・レストハウス事業の運営、受託事業を通じて魅力ある場所の提供に努める。	指定管理者として藤野野外スポーツ交流施設の索道・コース管理業務を行う。令和2年4月から単独で指定管理業者となり同施設の管理運営を行う。
⑤	⑥
⑦	⑧
(2) 総支出に占める事業支出割合 99.2% (主要事業支出合計 1,309,979千円 ÷ 総支出 1,319,980千円)	
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、札幌国際スキー場や豊平峡ダムの来場者数が令和2年度以降大幅に減少したものの、地元客の誘客に向けて積極的に取り組むなど、定山溪地区の振興といった設立目的に寄与し、一定の効果が出ているところである。札幌市が推進するスノーリゾート推進戦略における中核的なスキー場として、さらに効果を高める余地があると認識している。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 実施されている <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	地元客誘客に向けた取組により、札幌国際スキー場の来場者は改善傾向にあり、出資・設立目的を達成するために必要な事業が実施されている。今後も、常に事業内容を検証の上、事業の拡充や改善を行うなど、売上やサービスの向上に努める必要がある。

3 団体職員・構成員等

令和6年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員任期	
役員					15	10歳代	0	40歳代	12	取締役	2年
常勤取締役	1	0	3	0		20歳代	2	50歳代	18	監査役	4年
常勤監査役	0	0	1	0		30歳代	8	60歳代	5	代表権のある役員 の就任年月	
非常勤取締役	8					平均年齢	49.1		歳	取締役	R5.4
非常勤監査役	2								監査役	R5.8	
職員					137	職員総数の推移(人)					
常勤管理職	0	0	5	0		R04.4.1時点	122				
常勤一般職	0	0	40	0		R05.4.1時点	137				
非常勤職員	92										

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		R4年度決算	R5年度決算	(経常収入比)	(前年比)		
財務状況	経常収入内訳	経常収入 (a+f)	1,302,007	1,540,033	(100.0%)	(+238,026)	
	損益計算書	営業	売上高 (a)	1,289,175	1,519,736		(+230,561)
			営業費用 (b)	1,152,438	1,319,980		(+167,542)
			うち販売費・一般管理費 (c)	706,496	825,706	(53.6%)	(+119,210)
			うち人件費 (d)	445,941	457,344	(29.7%)	(+11,403)
			営業利益 (e)	136,737	199,756		(+63,019)
	営業外	営業外収益 (f)	12,832	20,297		(+7,465)	
	当期純利益 (g)	146,180	199,997		(+53,817)		
	貸借対照表	資産 (h)	2,479,392	2,610,786		(+131,394)	
		流動資産 (i)	875,983	915,606		(+39,623)	
		固定資産 (j)	1,603,409	1,695,180		(+91,771)	
		負債 (k)	687,529	639,325		(▲ 48,204)	
		流動負債 (l)	252,393	282,077		(+29,684)	
固定負債 (m)		435,136	357,248		(▲ 77,888)		
純資産 (n)		1,791,863	1,971,460		(+179,597)		
資本金 (o)		1,020,000	1,020,000		(0)		
借入金残高 (p)	367,700	289,100		(▲ 78,600)			

R5年度決算の概要	
区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a, c, d	札幌国際スキー場は、札幌市内他スキー場のオープンが遅れたことにより修学旅行の振替が発生したことで修学旅行の入込が増加した。また、新型コロナウイルス感染症が収束したことで外国人観光客の利用が増加し、それに伴いレンタル需要が増加したことが売上に大きく貢献をした。加えて、ていねプールは期間中の天候が良好であったこと、平均気温が30℃を超えたことで来場者が昨年の53,920人から95,251人と大幅に増加したことも大きな要因として挙げられる。なお、売上高の増加に伴い、販売費・管理費・人件費も増加した。
e, g	売上が好調であったことから、営業利益は199,756千円（前年度136,737千円）と増加した。純利益も199,997千円（前年度146,180千円）と前年に引き続き好調な状況である。
h, k, p	資産の増加は現預金・投資有価証券が増加した。 負債は借入金返済を滞りなく行った結果減少した。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R4年度決算	R5年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	4,198	4,761	(+563)
市委託料	151,518	139,535	(▲ 11,983)
市業務委託料	17,241	6,226	(▲ 11,015)
うち随意契約	7,586	6,226	(▲ 1,360)
市指定管理費	134,277	133,309	(▲ 968)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	0	0	(0)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	108,071	113,718	(+5,647)
うち非公募	0	0	(0)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R4年度	R5年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-o)	771,863	951,460	(+179,597)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	72.3%	75.5%	(+3.2%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	347.1%	324.6%	(▲22.5%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	89.5%	86.0%	(▲3.5%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	14.8%	11.1%	(▲3.8%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	10,672千円	11,241千円	(+569千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	34.3%	29.7%	(▲4.6%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	5,791千円	6,027千円	(+236千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	54.3%	53.6%	(▲0.6%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	0.9%	0.7%	(▲0.2%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	20.3%	16.8%	(▲3.5%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input type="checkbox"/> 非常に高い	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね健全	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
理由	健全性については、いずれも評価基準を満たしており、高く評価できる。 生産性については、職員一人当り管理費が評価基準を下回っているが、昨今の人件費や光熱費高騰等を考えると致し方ない項目であり、それ以外は評価基準を満たしていることから高く評価できる。 自立性に関する項目についても昨年度比で微減しており、自立性が高まっている点は評価できる。					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

7 資産

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、指標(※2)の達成状況の評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○出資の継続						
①	市出資金	目標		200,000千円	200,000千円	200,000千円
		実績	200,000千円	200,000千円	200,000千円	200,000千円
		評価	達成	達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(R5年度の評価が未達成の場合のみ記載する)						
○総括評価						
達成						
【取組結果】(「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。)						
施設の更なる魅力向上や周辺地域を含む観光資源との周遊性の向上、定山溪温泉と連携した誘客促進など、札幌市の観光施策と連動した事業展開を通じて、当該団体が定山溪地域の活性化に貢献していくよう、今後も関与を継続する必要があることから出資は継続する。						

(2) 人的関与

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○最低限の人的関与の継続						
①	市派遣職員数	目標		0	0	0
		実績	0	0	0	0
		評価		達成	達成	達成
②	役員の就任数（取締役）	目標		1	1	1
		実績	1	1	1	1
		評価		達成	達成	達成
未達成理由と今後の対応（R5年度の評価が未達成の場合のみ記載する）						
○総括評価						
達成						
【取組結果】（「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。）						
札幌市と当該団体との密接な連携及び出資者としての経営責任の観点から、市職員の役員就任を通じた最低限の人的関与ができた。						

(3) 団体の活用

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○札幌国際スキー場の利用者増						
①	札幌国際スキー場の来場者数（人）	目標		206,511	269,000	269,000
		実績	198,171	206,626	237,047	217,609
		評価		達成	未達成	達成
②	子どもを対象としたイベントの参加者数（親子DAY）（人）	目標		2,000	2,000	2,000
		実績	2,092	1,697	1,436	1,045
		評価		未達成	未達成	未達成
未達成理由と今後の対応（R5年度の評価が未達成の場合のみ記載する）						
②子どもを対象としたイベント開催による集客が難しく、親子セット券の販売強化にシフトしたため、今後はシーズン中の親子セット券の販売強化をしていく。						
○総括評価						
達成						
【取組結果】（「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。）						
気候変動による積雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響などスキー場運営を取り巻く環境が厳しい中、利用者のニーズに合わせた様々な取組により令和5年度は来場者の目標達成ができた。一方で、子どもを対象としたイベントの参加者数は目標を達成できなかったが、イベントの実施よりも親子セット券の販売強化などの対応にシフトしていることから、指標の見直しを行うとともに、引き続きニーズに合わせた事業展開や積極的な情報発信による誘客促進を求めていく。						

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○豊平峡ダムを活用した定山溪地区の観光振興						
①	豊平峡ダム来場者数	目標		52,190	80,000	80,000
		実績	47,959	41,995	40,561	62,193
		評価		未達成	未達成	未達成
②	定山溪温泉街との連携事業（日帰り入浴パック）の利用者数	目標		2,300	3,100	3,200
		実績	1,923	2,268	2,487	2,628
		評価		未達成	未達成	未達成
未達成理由と今後の対応（R5年度の評価が未達成の場合のみ記載する）						
紅葉の見ごろが例年に比べて短くなるなど、天候が入込客数に大きく影響した。そのため、入込数が減少したことに伴い、日帰り入浴パックの利用者も目標未達成となった。						
○総括評価						
未達成						
【取組結果】（「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。）						
天候などの外的要因による入込客数の変動が来場者数や利用者数に大きく影響を与えることから、目標未達成となってしまったため、目標値を見直すとともに、天候によらず来場者（利用者）が増える取組の展開を求めていく。						

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○札幌国際スキー場における収益基盤の強化						
①	国際スキー場パック券販売数(枚)	目標		24,000	24,000	24,000
		実績	29,542	34,285	49,617	29,034
		評価		達成	達成	達成
②	消費単価の対前年比	目標		99%	102%	102%
		実績	94%	113%	119%	107%
		評価		達成	達成	達成
未達成理由と今後の対応 (R5年度の評価が未達成の場合のみ記載する)						
○総括評価						
達成						
【取組結果】(「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。)						
パック券販売数は落ち込んでしまったが、消費単価の対前年比については毎年目標値を上回る結果となり、売上に繋がっているため、引き続き消費単価の増加に繋がる取組を求めている。						

(5) 団体統制

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○社員の資質向上						
①	研修等の延べ受講人数(人)	目標		100	100	100
		実績	68	103	74	102
		評価		達成	未達成	達成
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応 (R5年度の評価が未達成の場合のみ記載する)						
○総括評価						
達成						
【取組結果】(「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。)						
令和4年度は新型コロナウイルスの影響により、参加研修数の減少及び参加者数の制限により未達成となったが、令和5年度には達成できていることから、引き続き外部研修に参加することはもちろん、自社での研修を強化することで既存社員の育成に努めることを求めている。						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○障がいのある方の自立支援						
①	障害者就労支援施設からの物品調達や業務委託件数(件)	目標		2	2	2
		実績	1	1	1	1
		評価		未達成	未達成	未達成
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応 (R5年度の評価が未達成の場合のみ記載する)						
障害者就労支援施設への委託等は、近年の新型コロナウイルスによる財政状況が悪化していたことにより未達成となっていた。新型コロナウイルスの収束により財政状況が改善したことで、今後は発注件数の目標を達成できるように努力をしていく。						
○総括評価						
未達成						
【取組結果】(「達成/未達成」の判断理由や、計画期間全体を通じた取組結果等を記載する。)						
障害者就労支援施設からの物品調達は単価が高く、コロナ禍の財政状況を鑑みた結果、障害者就労支援施設よりも単価の低い業者へ注文せざるを得なかったため、未達成となっていたが、令和5年度は財政状況も回復してきており、今後は、障害者就労支援施設との取引を継続的に検討し、必要に応じて可能なものを発注していくことを求めている。						

事業評価 (1) ていねプール(手稲稲積公園内)の管理運営

1. 事業概要	事業所管課： 建設局みどりの推進部みどりの管理課	担当： 阿部	電話： 011-211-2536
(1)事業内容	手稲稲積公園、維持管理及び運営（園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務）		市指定管理費(公券) *****
(2)事業目的	レクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供する		
(3)事業開始	昭和57年（1982年）7月		

2 算
産

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	R4年度	R5年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		54,475 (4.2 %)	89,516 (5.8 %)	(+35,041)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	12,967	15,161	(+2,194)	
	市施設利用料金収入	28,190	50,494	(+22,304)	
	自主事業収入(補助金除く)	12,742	23,168	(+10,426)	
	その他収入	576	693	(+117)	
	費用(支出)	62,546	68,147	(+5,601)	
	事業費	51,675	60,054	(+8,379)	
	管理費等	10,871	8,093	(▲ 2,778)	
	収支差	▲ 8,071	21,369	(+29,440)	
	収支比率	87.10%	131.36%	(+44.26%)	
(2)活動指標		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
①	低年齢層(幼稚園・保育園)への営業活動	実施済	実施	実施	実施
②	小中学校の児童・生徒へのチラシ配布	実施済	実施	実施	実施
③	健康増進関連施設へのチラシ配布	実施なし	実施	実施なし	実施
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
①	全プール利用者数(人)	53,920	80,500	95,251	81,000
②	4歳以上中学生以下のプール利用者数(人)	31,643	48,300	55,975	48,000
③	利用者満足度調査(大いに満足、満足の比率)	98.2%	100.0%	96.8%	100.0%
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	令和5年度は例年並みの44日間としたこと、天候に恵まれたことなども相まって、利用者数が前年度比1.8倍となった。期間中は安全確保及び衛生管理に努め、大きなトラブルや利用者からの苦情等も無く施設運営ができたこと、また稼働率が回復傾向にある中、臨時駐車場の確保や適切な情報提供等により、大きな混乱もなくプールを営業できたことを評価する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	収入の大幅増については、利用者数の増加とレストランやレンタル事業等の自主事業による収益の増加が主な理由であり、引き続き安定した運営管理に努めていただきたい。

事業評価 (2) 札幌国際スキー場事業

1. 事業概要	事業所管課： 経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課	担当： 内潟	電話： 011-211-2376
(1)事業内容	札幌国際スキー場における、リフト・ゴンドラ運行・レストラン運営・各種スクール運営・用具のレンタル・休憩施設の提供・コース整備		
(2)事業目的	札幌圏におけるレクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供すると共に定山溪地域に於ける振興策としてレクリエーション基地の開発を行う。		
(3)事業開始	昭和53年(1978年) 12月		

2 算

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R4年度	R5年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		975,316 (74.9 %)	1,192,404 (77.4 %)	(+217,088)
支	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	957,399	1,170,589	(+213,190)	
	その他収入	17,917	21,815	(+3,898)	
	費用(支出)	806,292	954,900	(+148,608)	
	事業費	742,526	862,952	(+120,426)	
	管理費等	63,766	91,948	(+28,182)	
	収支差	169,024	237,504	(+68,480)	
収支比率	120.96%	124.87%	(+3.91%)		
(2)活動指標		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
①	会員組織(くるトククラブ)の組織強化(会員数)	15,819	16,500	14,619	16,500
②	集中レッスンの実施(参加者数)	3,225	3,650	3,123	3,650
③	シニアDAYの継続実施(参加者数)	4,616	5,000	4,809	5,000
④	他スキー場との連携(シーズンネット利用者数)	519	550	597	650
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
①	来場者数(人)	237,047	255,830	271,616	282,000
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	新型コロナウイルス感染症の影響により、道外からの修学旅行やインバウンドが激減したことで、令和2年度に来場者数は大きく落ち込んだが、翌年度以降徐々に回復し、令和5年度においては、コロナ前の平成30・令和元年度と同水準の来場者数となっている。 今後は、定山溪地域との一層の連携等により、国内外の観光客に訴求するような魅力向上に取り組むことを期待する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	収支について、来場者数同様令和2年度の落ち込みから回復傾向にあり、令和5年度にはコロナ前の平成30・令和元年度を上回る事業収入となっている。

事業評価 (3) 豊平峡電気自動車・レストハウス事業

1. 事業概要	事業所管課： 経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課	担当： 岩淵	電話： 011-211-2376
(1)事業内容	豊平峡電気自動車・レストハウス事業の運営、受託事業として公園管理		市委託料(随意契約) *****
(2)事業目的	紅葉の名所として市民に親しまれている豊平峡において、豊平峡電気自動車・レストハウス事業を通じて市民の健康増進に寄与するとともに定山溪地区の観光振興を図る。		
(3)事業開始	昭和51年(1976年) 8月		

2 算 出

(1)事業収支(単位:千円)	項目	R4年度	R5年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		33,026 (2.5 %)	44,102 (2.9 %)	(+11,076)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	10,942	3,205	(▲ 7,737)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	21,888	34,230	(+12,342)	
	その他収入	196	6,667	(+6,471)	
	費用(支出)	42,204	36,190	(▲ 6,014)	
	事業費	30,345	33,032	(+2,687)	
	管理費等	11,859	3,158	(▲ 8,701)	
	収支差	▲ 9,178	7,912	(+17,090)	
	収支比率	78.25%	121.86%	(+43.61%)	
(2)活動指標		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
①	ディケアサービス施設の来場促進	実施済	実施	実施済	実施
②	地元企業・団体等への販促	実施済	実施	実施済	実施
③	定山溪温泉、果樹園とのタイアップ設定	実施済	実施	実施済	実施
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
①	来場者数(豊平峡ダム・インバウンド含む)	40,561	44,700	62,040	64,000
②	インバウンド誘致(インバウンド来場者数)	0	1,500	16,548	17,700
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	<p>昨年度と比較して来場者数は増加しており、全体来場者数、インバウンド来場者数ともに目標値を達成している。引き続き、定山溪温泉や、近郊の観光施設等と連携し、定山溪地区全体の観光振興に資する取り組みを実施していただくことを期待する。</p> <p>全体の来場者数とインバウンド来場者数の比較から、インバウンド誘致による利用率の伸びが期待されるため、高める余地ありとする。</p>
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	<p>昨年度と比較して、収入増、支出減となっており良好の状態にある。</p> <p>今後も可能な限り経費節減については継続していただくとともに、利用率の向上に資する取組を実施していただくことで、良好な収支状況の維持・向上を目指していただきたい。</p>

事業評価 (4) 藤野野外スポーツ交流施設の管理運営

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 谷内	電話： 011-211-3045
(1)事業内容	藤野野外スポーツ交流施設の管理運営に伴う、施設・設備維持管理業務、施設開放業務（利用料金制度）、スポーツ普及振興業務		市指定管理費(公券) 121,190
(2)事業目的	札幌圏におけるレクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供する。		
(3)事業開始	平成13年(2001年)12月		

2 算
産

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R4年度	R5年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		257,067 (19.7 %)	228,880 (14.9 %)	▲ 28,187
事業 収支 (単位 千円)	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	122,070	121,190	▲ 880	
	市施設利用料金収入	79,881	63,224	▲ 16,657	
	自主事業収入(補助金除く)	43,097	38,017	▲ 5,080	
	その他収入	12,019	6,449	▲ 5,570	
	費用(支出)	249,973	250,742	+769	
	事業費	218,622	232,372	+13,750	
	管理費等	31,351	18,370	▲ 12,981	
	収支差	7,094	▲ 21,862	▲ 28,956	
収支比率	102.84%	91.28%	▲ 11.56%		
(2)活動指標		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
① 営業日数		210	275	254	274
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	R6年度目標
① リフト輸送人員数		752,965	777,000	602,732	777,000
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	令和5年度(2023/2024シーズン)については、積雪に恵まれず、1月9日に冬季営業を一部開始、全面滑走可能となったのは1月14日となったため、利用料金収入及びリフト輸送人員数ともに昨年度実績・目標値を大きく下回る結果となったが、無料シャトルバスの乗降場所追加やナイター営業を最大限実施するなど、利用促進に向け積極的に取り組んでいることは評価できる。 今後も鉄道事業法に基づく安全な索道運行を実施するとともに、施設の利用者増加につながるよう、一層のサービス向上及び施設のPR等に努めることを期待する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	積雪不足による冬季営業開始の大幅な遅れにより、事業収支は赤字となった。 利用者ニーズを踏まえた更なるサービス向上及び新たな顧客の開拓等により、引き続き安定した施設運営を期待する。

貸 借 対 照 表

令和6年5月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	915,605,675	流動負債	282,077,241
現金及び預金	859,014,165	1年以内返済予定の	
売掛金	9,171,078	長期借入金	78,600,000
商品	6,586,836	未払金	52,069,595
貯蔵品	1,033,600	未払法人税等	59,226,200
前払費用	15,601,884	未払事業所税	10,104,400
立替金	1,015,688	未払消費税等	32,326,600
未収入金	23,135,596	未払費用	702,946
その他	46,828	契約負債	15,371,755
		預り金	17,557,567
固定資産	1,695,180,233	前受収益	5,957,778
有形固定資産	(1,549,839,027)	賞与引当金	10,160,400
建物	695,394,806	固定負債	357,248,030
構築物	207,835,972	長期借入金	210,500,000
機械装置	410,356,408	リース債務	24,586,040
車輜運搬具	57,443,454	退職給付引当金	99,261,990
工具・器具・備品	49,819,792	資産除去債務	22,900,000
土地	101,105,048		
リース資産	27,883,547	負債合計	639,325,271
無形固定資産	(24,497,297)	(純資産の部)	
電話加入権	1,412,402	株主資本	1,971,460,637
グレンデ整備費	3,920,400	資本金	1,020,000,000
ソフトウェア	19,164,495	利益剰余金	951,460,637
投資その他の資産	(120,843,909)	利益準備金	47,118,000
投資有価証券	94,656,538	その他利益剰余金	904,342,637
出資金	20,000	別途積立金	218,000,000
長期貸付金	1,480,000	配当平均積立金	60,000,000
差入保証金	7,291,986	圧縮積立金	7,021,631
役員退職積立金	24,400	繰越利益剰余金	619,321,006
繰延税金資産	17,370,985	純資産合計	1,971,460,637
資産合計	2,610,785,908	負債及び純資産合計	2,610,785,908

損 益 計 算 書

自 令和5年6月 1日

至 令和6年5月31日

(単位：円)

科 目	金	額
売上高		1,519,736,650
スキー場事業売上	1,170,589,578	
豊平峡事業売上	37,890,914	
ていねプール事業売上	88,823,849	
藤野事業売上	222,432,309	
売上原価		8,880,364
売上原価	8,880,364	
売上総利益		1,510,856,286
販売費及び一般管理費		1,311,100,566
販売費及び一般管理費	1,311,100,566	
営業利益		199,755,720
営業外収益		20,297,251
受取利息	180,674	
受取配当金	540,600	
雑収入	19,575,977	
営業外費用		4,053,532
支払利息	4,042,334	
雑損失	11,198	
経常利益		215,999,439
特別利益		46,883,720
補助金	15,783,720	
資産除去債務戻入益	31,100,000	
特別損失		2,588,372
固定資産除却損	2,588,372	
税引前当期純利益		260,294,787
法人税、住民税及び事業税		65,961,809
法人税等調整額		△ 5,664,664
当期純利益		199,997,642